

日本医学会だより

JAMS NEWS

2013年10月 No.50
日本医学会

□第16回日本医学会公開フォーラム

「大腸がん—最新情報を知ろう—」をテーマに、10月19日(土)13:00~16:00、日本医師会館大講堂において開催した。組織委員長は、森 正樹大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学教授。

□第145回日本医学会シンポジウム

「乳がん」をテーマに、12月19日(木)13:00~17:00、日本医師会館大講堂において開催する。組織委員は、池田 正、藤原康弘、平岡真寛の各氏。参加申込みは郵便はがき、FAX、本会HP(<http://jams.med.or.jp/>)にて受付中。参加費無料。詳細はHPに掲載。

□医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を9月4日に開催し、平成25年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

本選考は、日本医師会から日本医学会に委任されており、今年度の推薦数：医学賞21、奨励賞36を審査した。

選考の結果、11月1日の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は3名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

・骨髄異形成症候群におけるRNAスプライシング因子の変異の発見/小川誠司(京大・腫瘍生物学)

- ・地域および職場における心の健康の実態、関連要因解明および対策に関する研究/川上憲人(東大・精神保健学)
- ・インクレチン生理機能の解明と日本人糖尿病におけるその意義/清野 裕(関西電力病院)
〈日本医師会医学研究奨励賞〉
- ・マルチカラー細胞系譜追跡法による成体幹細胞の同定と解析/上野博夫(関西医大・病理学)
- ・抗癌剤耐性を促進するがん特異的な免疫調節因子同定とその臨床的意義の検討/地主将久(北大遺伝研・感染癌研究センター)
- ・蛍光生体イメージング技術を駆使した骨髄内免疫細胞分化の時空間的解明/石井 優(阪大・感染免疫医学)
- ・わが国におけるサルコペニアの定義およびその妥当性の検証/谷本芳美(大阪医大・衛生学・公衆衛生学)
- ・大規模二次的データを用いた臨床疫学、医療経済・政策学研究/康永秀生(東大・臨床疫学・経済学)
- ・脳梗塞に対する再生医療—日本初の薬事法に基づく生物製剤化への試み—/本望 修(札幌医大・神経再生医療学)
- ・サイクロフィリンAを基盤とする心血管病の成因解明と新しい診断・予防・治療法の開発/佐藤公雄(東北大・循環器内科学)
- ・抗ヘリコバクター・ピロリ CagA 抗体迅速検出キットの開発/塩田星児(大分大・環境・予防医学)
- ・糖尿病血管合併症の発症阻止に向けた新たな

治療戦略の構築/荒木信一（滋賀医大・糖尿病・腎臓・神経内科学）

- ・デルマトン 4-O-硫酸基転移酵素-1 欠損に基づくエーラスタンロス症候群の病態解明と治療法の開発/古庄知己（信州大・遺伝子診療部）
- ・患者組織由来脂肪幹細胞の臨床応用を目指した開発研究/三吉範克（大阪府立成人病センター）
- ・COX 代謝からみた好酸球性副鼻腔炎の病態解明と新規治療法の開発/岡野光博（岡山大・耳鼻咽喉・頭頸部外科学）
- ・子宮体癌においてエピジェネティックな制御を受けている microRNA を用いた創薬研究/阪埜浩司（慶大・産婦人科学）
- ・前立腺肥大症に対する個別化治療と新規創薬開発に向けた基礎的研究/小島祥敬（福島医大・泌尿器科学）
- ・虚血性網膜症における血管再生療法の開発/植村明嘉（神戸大・血管生物学）

□日本医学会法人化組織委員会

第5回日本医学会法人化組織委員会が、5月17日に開催され、「日本医学会が法人格を持つことの必要性について」および「一般社団法人日本医学会定款案」を検討し、次回の日医第3回定款・諸規程検討委員会に提出することを決定。さらに、法人格取得の日程（平成26年4月予定）に合わせて、本年12月に臨時評議員会の開催を予定した。

□日本医学会臨床部会会議

第3回日本医学会臨床部会会議を8月28日に開催。かねてより平成26年4月に予定していた日本医学会法人格取得につき、横倉日医会長から延期の申し出があり、会議当日、「予定どおり進めるか」または「日医会長の要望に応じて1年間延期するか」について議論した。その結果、「予定どおり平成26年4月に法人格を取得し、法人の名称等については執行部一任とす

る」こととなった。

□日本医学会基礎部会・社会部会 合同会議

標記合同会議を10月3日に開催し、日本医学会の法人化に関して検討を行った。合同会議としての結論は、先に開催された臨床部会会議同様、日本医学会の法人化は来年4月を目指し、付随した諸問題については執行部に一任となった。

□日本医学会分科会利益相反会議

「違反事例から見たCOIマネジメントのあり方」をシンポジウムテーマとした第4回日本医学会分科会利益相反会議を曾根三郎日本医学会利益相反委員会委員長の総司会の下、11月15日（金）13:00~16:20、日本医師会館小講堂にて開催する。参加希望者は、本会ホームページにて受付中。

当日は総会に引き続き、「日本医学会分科会にかかるCOIマネジメントの現状」「臨床研究をとりまく環境～健康・医療戦略と倫理性・質の確保～」「日米欧製薬協の企業依頼臨床試験にかかる論文公表について」「産学連携の透明化とアカデミアへの期待」「医系大学・研究機関・病院における利益相反（COI）マネジメントガイドラインについて」の講演が行われる予定。

□日本専門医機構組織委員会

本年4月に厚労省から「専門医の在り方に関する検討会報告書」が出されたことを受け、日本医師会、日本医学会、全国医学部長病院長会議、四病院団体協議会、日本専門医制度評価・認定機構の5団体で構成される「日本専門医機構（仮称）」組織委員会を立ち上げることを決定し、8月6日に、第1回を開催した。委員長は金澤一郎氏（国際医療福祉大大学院長）。定款策定、役員選考、総合診療専門医育成、広報、財務等5つの委員会の設置が決まった。今後、定款、役員、組織などの骨格を決定する予定。